わんわんカルテット

犬を飼うときのマナー、法律で決まっていること、犬の病気、そして犬から人へと感染する病気について学ぶために、カードゲームを利用した教材をつくりました（対象年令5才以上）。家族や友だちなどと遊びながら、基本的な情報が得られます。また、社会で活躍する犬（はじょ犬）について理解が広まるよう、紹介しています。パンフレットでは、遊び方とカードの内容をより詳しく解説しています。

おうちにやってきた

犬を飼う前には、家族全員で、よく話し合いましょう。どのくらいまで大きくなるのか、どんな世話をすればよいのか、どんな病気があるのかなどよく調べてみましょう。本を読んだり、同じ犬を飼っている人に話を聞いてみたり、実際に世話のお手伝いをさせてもらうことも良いでしょう。犬の平均寿命は約15年です。亡くなるまで毎日世話をしても、一緒に暮らすことになります。

参考「ほんとうに飼えるかな？（子ども向け）」（環境省）
URL：http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/algo/2_data/pamph/1911b.html

「飼い主の方やこれからペットを飼う方へ」（環境省）

おくそく

日本では、犬や人が狂犬病（赤のカード参照）にならないように、法律（狂犬病予防法）によつて、①生後3か月以上の犬は居住地の市町村役場へ登録すること、②犬は毎年1回狂犬病予防注射をすること、③犬に登録済みと予防注射済みの証明の飼主と注射済票をつけておくことが義務づけられています（飼主や注射済票をつけていないと迷子になったときに保健所で保護されても飼い主に連絡がつかず、早く見つけることができます）。これらを守らなかった場合には、罰金の対象となります。

日本国内の予防接種件数が75％以下になると、国外から狂犬病が入ってきた時に、国内の犬などに感染が広まるおそれがあります。平成19年では、登録されている犬の予防接種件数は75.6％（厚生労働省）、飼育頭数から推定した予防接種件数では41％（日本獣医師会）と報告されています。
しつけ・けんこう

犬を飼うことは、その命を預かることです。犬が快適・健康に暮らせるようにするとともに、社会や近隣に迷惑をかけないようにする責任があります。犬と人が共に生きていく社会の実現には、飼い主のモラルとマナーが必要です。環境省は動物の愛護及び管理に関する法律を定めています。

1. おいで
2. おすわり
3. まて
4. トイレ

参考 「動物の愛護及び管理に関する法律のあらまし」
URL: http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/algo/2_data/pamph/1903.html

いぬがびしょきになったら

犬が感染しやすい病気は、犬回虫症、パルボウイルス感染症、ジスチンバー、フィラリア症などがあります。犬回虫症は、子犬が感染していることが多く、検査し、もし感染していたらお薬を飲ませて治療します。パルボウイルス感染症も子犬が感染しやすく、重症になると亡くなることもあります。犬の病気予防のため、一般的に5種（ジスチンバー、パルボウイルス感染症、伝染性肝炎、伝染性咽頭気管支炎、犬バラインフルエンザ）混合ワクチンを接種します。フィラリア症は、蚊に刺されて感染するため、夏の間予防薬を飲ませます。

1. めやに
2. せき
3. げり
4. おなか

きをつけよう

犬とその環境を清潔に保つことは病気の予防につながります。シャンプーやブラッシングで清潔にする、ノミなどを駆除（くじょ）する、小屋やケージを掃除し敷物を洗って細菌が繁殖しないようにします。

また、犬には病気をおこさなくても、人に病気をおこす病原体（細菌やウイルス）を体内にもっていることがあるので、どんなにかわいくても、口移しでえさを与えてはいけません。犬の口の中には色々な病原体がいます。また、知らない間にたと液などにぶれていることがあるので、さわった後は必ず手を洗いましょう。
きょうけんびょう

犬も人も症状がでたら100％亡くなる病気として狂犬病があります。人は、狂犬病に感染している犬に撫でられ、 أجسام、キツネ、スカンク、ウッズリなどの子供類にかまれて感染します。かまれた後、1か月以上たってから、発熱、頭痛などが始まり、幻覚、水（液体）を飲むとけいれんを起こすなどの症状がでます。そして、よだれを流し、呼吸ができなくなって亡くなります。1957年以降国内感染による患者は発生していませんが、2006年に海外での犬にかまれ、帰国後狂犬病の症状がでて亡くなった2人の例が報告されています。アジア、アメリカ、ヨーロッパなど、世界で年間3〜5万人が亡くなっています。

飼い主は、年に1回4月から6月までの狂犬病予防注射期間に、狂犬病予防注射を受けさせなければなりません。

まちでかつやく

まちで活躍する犬の仲間に目や耳からだの不自由な人のお手伝いをする補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）がいます。公共施設や交通機関、飲食店、スーパーなどのいろいろな場所に同伴し、からだの不自由な人の自立と社会参加を助けています。お店や施設の入口にシールが貼ってあります。補助犬と一緒に暮らせる社会をつくりていきます。

参考「動物由来感染症を知ってますか」（厚生労働省検疫所）
URL: http://www.forth.go.jp/mhlw/animal/

「海外旅行者のための感染症情報：狂犬病」（厚生労働省検疫所）
URL: http://www.forth.go.jp/tourist/kansen/20_rabies.html

参考「ほしょ犬」（厚生労働省）
URL: http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/syakai/hoyoken/index.html
カルテットの遊び方

「カルテット（quartett, ドイツ語）」とは、もとはイタリア語からきた言葉で、4つ組、4つ揃いを意味します。ゲームのカルテットは、ドイツではよく遊ばれているトランプゲームの一種で、4枚の絵札を集めて遊びます。

・人数は3〜5人くらいが適当です。多くてもゲームはできますが、難しくなります。
・カードは32枚で、ピンク、ミドリ、ミズイロ、オレンジ、ハイイロ、アカ、チャイロ、アオの8つの色にわかれています。
・各色１から４までのいずれかの数字がカードにふれてあります。
・全部のカードをよく見て、全員に1枚ずつ裏向きにして全てのカードを配ります。
・じゃんけんで最初のプレーヤーを決め、その人から順に時計回りで進みます。
・プレーヤーは、メンバーの誰かを指名して、自分の必要なカード（例えば「ミドリの１」）を持っているかどうかたずねます。
・選ばれた人は、そのカードを持っていれば渡さなければならない。このときに「うそ」とはつけません。
・カードをもらった場合は、その人が続けてプレイできます。はずれた場合は次の人に交代します。
・同じ色（例えば「ミドリ」）の１から４までがそろったら「カルテット」と言って自分の前に並べてください。
・全員の手持ちのカードがなくなった時に、もっとも多くの4枚組を自分の前に並べている人が勝ちです。（ルールの補足）
・慣れてきたら、ほしいカードを「ミドリの３０日」「おやくそくの３０日」などとパンフレットを参考にたずねると言葉を覚えることができます。
・手持ちのカードがなくなったゲームに参加し続けることができます。また逆に、手持ちのカードがなくなったなら、そのプレーヤーは続けて参加できないようにするルールにできます。

・遊ぶ方ムービー
URL: http://www.youtube.com/watch?v=1-eWwmgGz6WE（「食の安全豆知識」カルテットゲーム）

ゲームのあとで
カードを色別に数字の順番に並べてみましょう。各カードには言葉とその言葉についての解説が書いてあります。そのカードを取った人や保護者などがカードを参加者にみせながら、読み聞かせてください。

カルテットいろいろ
感染症予防について生活のなかで身に付けることを目的とした「せいかつカルテット」、インフルエンザと新型インフルエンザをテーマとした「パンデミックフル」、エイズ予防を目的とした「WHAT IS AIDS？」、食の安全をテーマとした「食の安全豆知識」、むし歯予防を目的とした「むし歯予防カルテット」などがあります。

平成21年度厚生労働科学研究費補助金新薬型インフルエンザ等新薬、新機能性食品開発等研究事業「健康食品への新視点に基づく実用的なリスクコミュニケーション手法と教育活動に関する研究」研究代表者 丸井英二（筑波大学医学部臨床栄養学教室）
1. おうちにやってきたポチ
   なまえをつけます

2. おうちにやってきたずっといっしょ
   いぬは15ねんくらいがいきしますとしけとてなくなるまで、いっしょにくらります

3. おうちにやってきたおせわ
   わたしたちがまいにちおせわをします

4. おうちにやってきたさんぽ
   ここらからだのけんこうにびつようです

1. おやくそく30日
   いぬをかってから30日いないに、やくしょ（市区町村）へとだけでをしなければなりません

2. おやくそくなふだ
   とどけをしたら、かんさつ（飼札）というなふだをつけなければなりません

3. おやくそくちゅうしゃ
   いぬはまいとし1かい、ちゅうしゃをうけなければなりません（狂犬病予防注射）

4. おやくそくしるし
   ちゅうしゃをしたら、そのしるしにちゅうしゃずみひょう（注射済証）をつけなければなりません
1 しつけ おいで
よんだらくるようにします

2 しつけ おすわり
アイコンタクト（犬の目をみる）とおやつをつけて「おすわり」を教えます

3 しつけ おしと
アイコンタクト（犬の目をみる）とおやつをつけて「おしと」を教えます

4 しつけ トイレ
きたったところで、トイレできるようにしつけます

1 けんこう しょくよく
ごはんをたべてこないか、たべすぎてないかを教えます

2 けんこう けなみ
けなみにつやがあるかどうかで、びょうきかどうかわかります

3 けんこう はな
ねつがあるかどうか、はな（鼻）でわかります

4 けんこう ふん
ふん（糞）で、びょうきかどうかわかります
1. きをつけよう ブラッシング
   からだをあらったり、ブラシをかけたりして、
   いぬをおちやねどもきれいにします

2. きをつけよう そうじ
   いぬのおうちやねどもきれいにします

3. きをつけよう てあらい
   せっけんでて（手）をあらって、びょうきがうつ
   らないようにします

4. きをつけよう キスしない
   いぬとキスをするとびょうきがうつることが
   あります

1. まちでかつやく ほじょけん
   もうどうけん、かいじょけん、ちょうどうけん
   のことを、ほじょけんといいます

2. まちでかつやく もうどうけん
   め（目）のふじゆなひとをゆどうでしょう

3. まちでかつやく かいじょけん
   からだのふじゆなひとのてあし（手足）とな
   ってはたらきます

4. まちでかつやく ちょうどうけん
   みみ（耳）がふじゆなひとにおく（音）を
   しらせます
1. いぬがびょうきになったら
   めやに

2. いぬがびょうきになったら
   せき

3. いぬがびょうきになったら
   げり

4. いぬがびょうきになったら
   おなか

1. きょうけんびょうもにゅうるい
2. きょうけんびょう100%
3. きょうけんびょうちりょう
4. きょうけんびょう5まんにん

きょうけんびょう（狂犬病）は、いぬだけでなく
ねこやこうもりなどのほにゅうるい（哺乳類）
のびょうきです

どうぶもひとも、きょうけんびょう（狂犬病）
にかかったら、ほとんど100%くなってしまいます

きょうけんびょう（狂犬病）かもしれないいぬ
などにかまれたら、すぐにワクチン（ちゅう
しゃ）を6かいうちます

まいとし、アジアやアフリカをちゅうしんに、
5まんにんじょうがなくなっているといわ
れています

しんそうのなかにむしがつまって、せきができ
たり、おなかにみづがたまったりします（フィ
ラリアしょう）。よくすりでよぼうできます

はげしいおうと（嘔吐）やげり（下痢）で、なく
なることがあります（パルボウイルスかんせん
しょう）。よぼうちょうしゃがあります

おなかのなかにむしがいると、おうと（嘔吐）や
げり（下痢）、おなかがふくれたりします
（かいちょうしょう）